

2026年5月期 (第40期)

第1四半期決算

株式会社ウェザーニューズ

2025年10月8日 (水)

1 2026年5月期(第40期) 第1四半期決算概要

- ◆ 実績サマリ
- ◆ Domain(事業)別売上
- ◆ 各Domain(事業)の詳細
- ◆ 中期経営計画に基づいた重点施策の進捗状況

2 2026年5月期(第40期) 通期業績予想

- ◆ 通期業績予想
- ◆ Domain(事業)別売上
- ◆ 配当方針

1

2026年5月期(第40期)

第1四半期決算概要

- ◆ 実績サマリ
- ◆ Domain(事業)別売上
- ◆ 各Domain(事業)の詳細
- ◆ 中期経営計画に基づいた重点施策の進捗状況

2

Q1として過去最高売上を達成 各段階利益も過去最高益を更新

【売上】 6,006百万円（前年同期比2.8%増）

【営業利益】 912百万円（前年同期比100.5%増）

単位：百万円

2025.5期 Q1実績

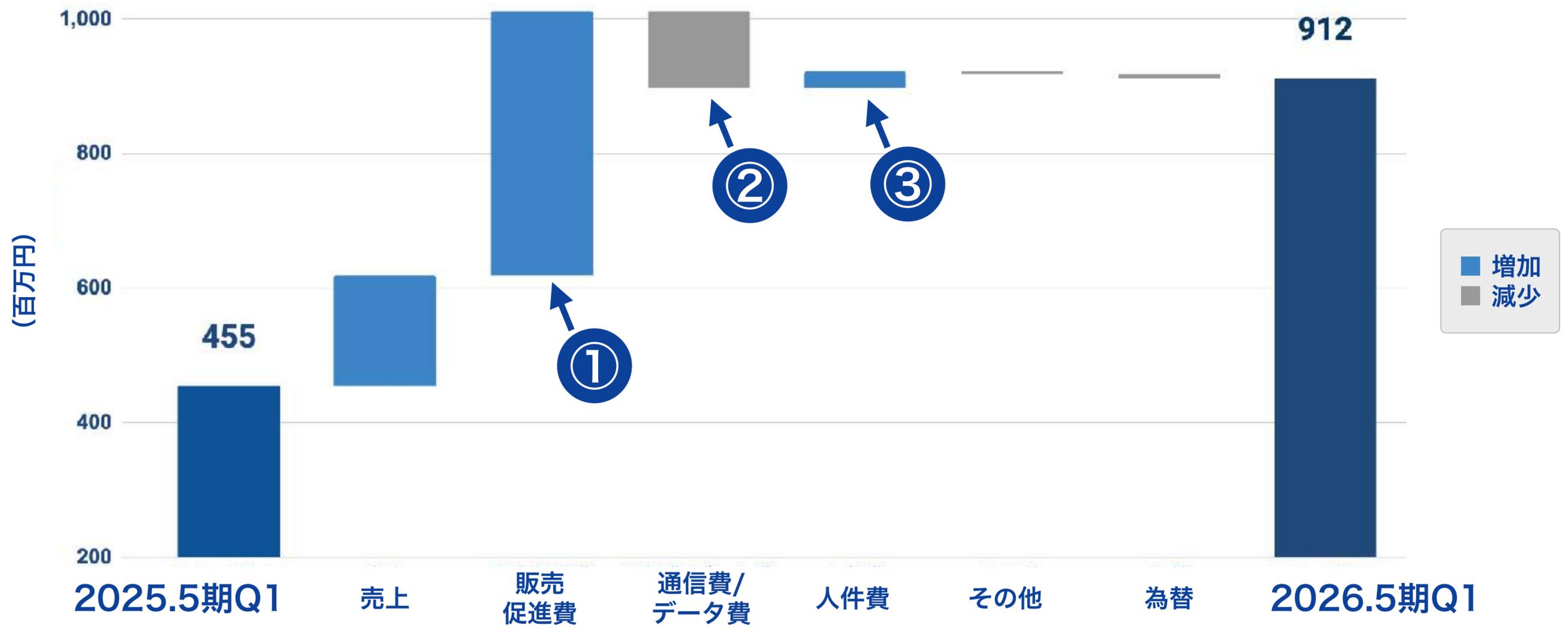
2026.5期 Q1実績

前期比

	2025.5期 Q1実績	2026.5期 Q1実績	前期比
売上高	5,843	6,006	+2.8%
営業利益	455	912	+100.5%
営業利益率 (%)	7.8	15.2	+7.4Pt
経常利益	388	915	+135.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	279	672	+140.6%
EPS (円)	12.65	30.34	+17.69円
為替 (USD/JPY) (円)	154.16	146.33	△7.83円

注) EPS：株式分割後の金額を記載しております。（効力発生日：2024年12月1日）

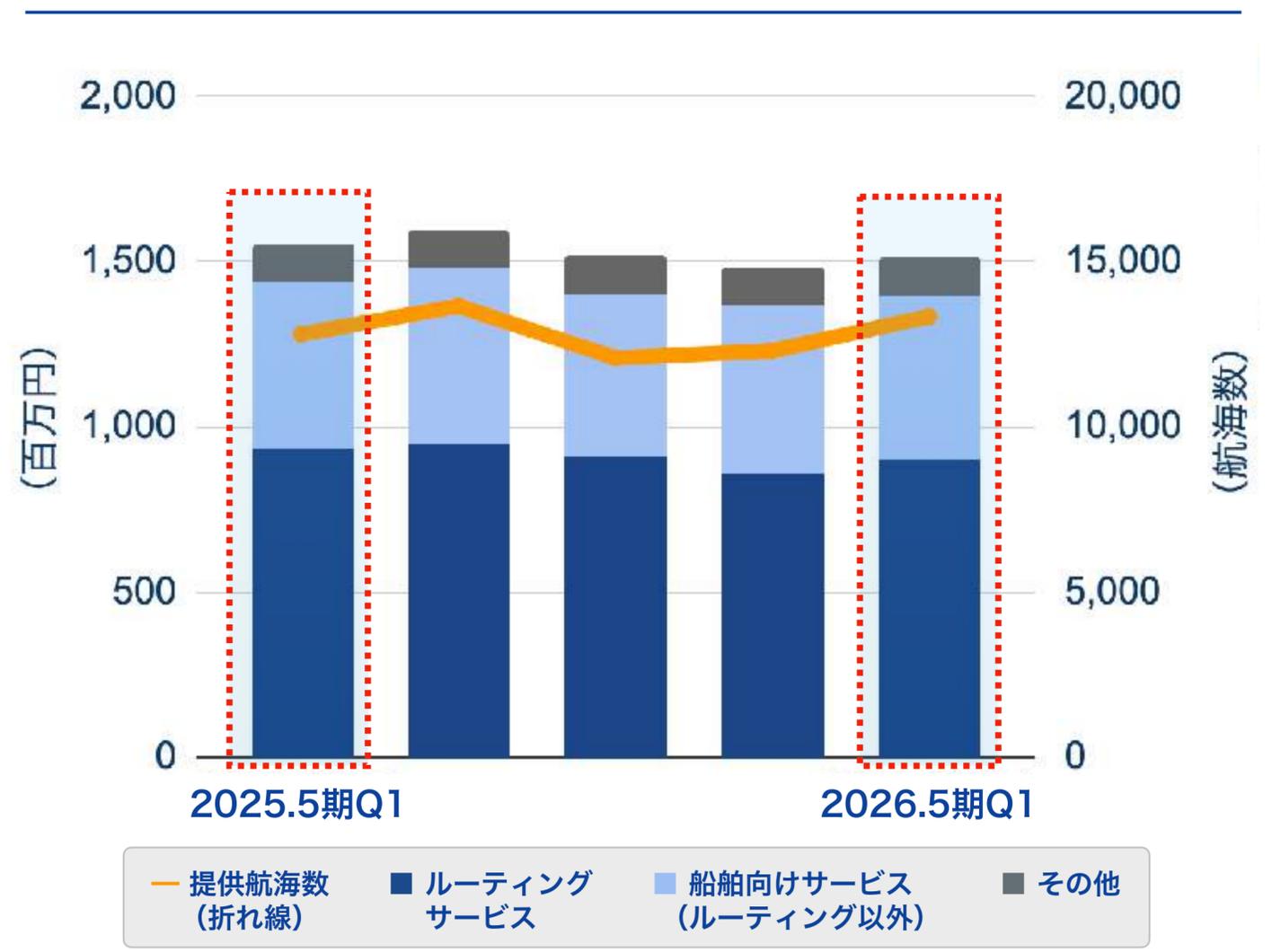
- ① 広告戦略の変更および天候の影響で、販売促進費が減少
- ② サービスの拡販が進み、通信費/データ費が増加
- ③ AIの活用が進み、人件費が減少



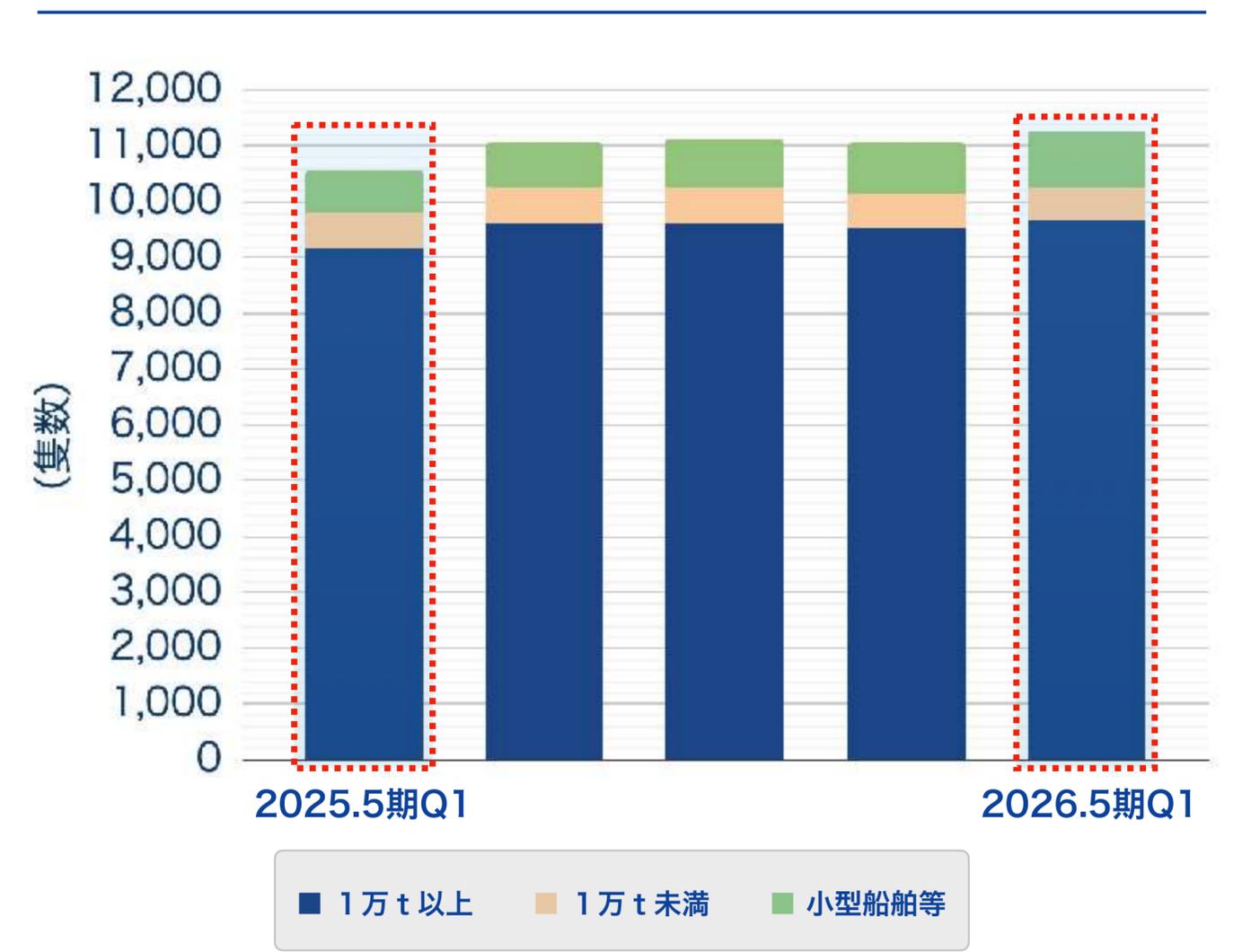
単位：百万円	2025.5期 Q1 実績	2026.5期 Q1 実績	前期比	事業状況
Sea Domain	1,550	1,509	△2.7%	欧州市場におけるアップセルがあるも、為替の影響で減収
Sky Domain	327	360	+9.9%	アジアのエアライン市場や国内ヘリ市場にて増収
Land Domain	1,600	1,675	+4.7%	エネルギーや小売をはじめ、建設・物流・工場などの新市場でのサービス導入が進み増収
Internet Domain	2,222	2,251	+1.3%	3年連続予報精度No.1評価や広告投資でユーザー数が増加し、売上は前期比微増
ストック売上 合計	5,701	5,796	+1.7%	-
フロー売上	141	210	+48.2%	(将来のストック売上につながる一時的な調査やシステム販売などの売上)
総計	5,843	6,006	+2.8%	-

【市況】 米国の関税引き上げの影響で、中国・アメリカの海運市況はやや軟化
【業績】 欧州を中心に提供航海数やサービス提供隻数が増加も、為替の影響を受けて減収

売上高および提供航海数 四半期推移

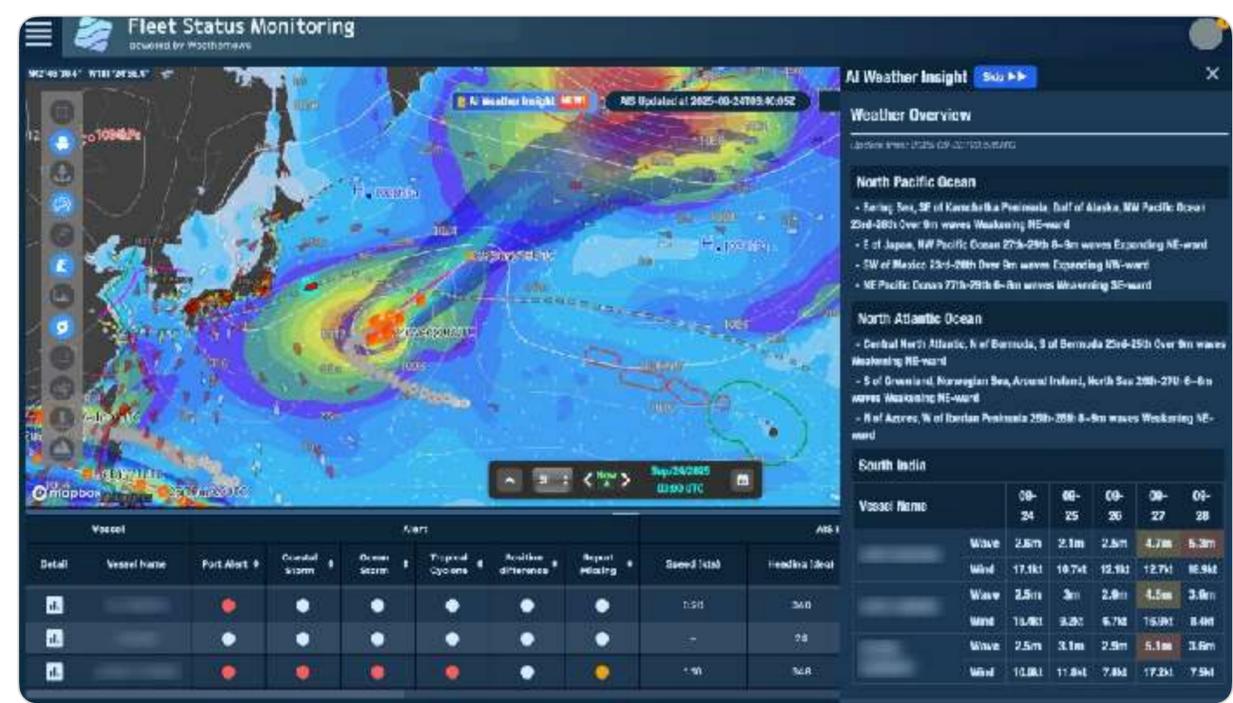


サービス提供隻数



航海気象サービス “SeaNavigator” を欧州中心に拡販

- ◆ 年内に新プロダクトの販売開始を予定
- ◆ カスタマーサクセスによるアップセル体制を推進



- ◆ 最適なルーティングや荒天影響船のモニタリングのほか、座礁リスクやCO2排出量などあらゆる情報を集約
- ◆ 中小型～大型船舶の環境性・安全性・経済性をOne-Platformで支援

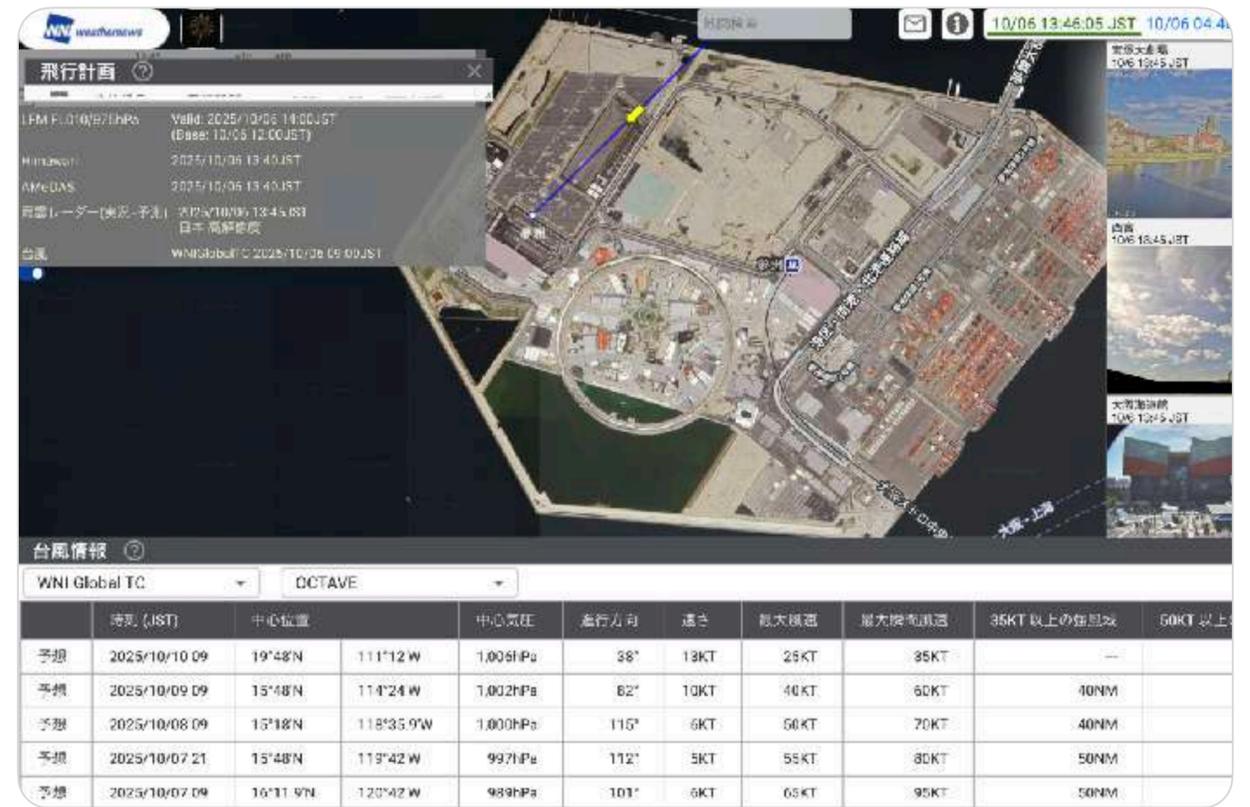


- ◆ AIが膨大な気象や航海データを分析し、チャット形式で即時回答
- ◆ 船舶性能の解析業務を迅速化

- ◆ アジアの新規顧客を計画より前倒しで受注した他、市況回復に伴い既存顧客のアップセルも
- ◆ ドローンショーや空飛ぶクルマなどの運航支援を実施



アジアのエアライン市場で新規顧客獲得が伸長

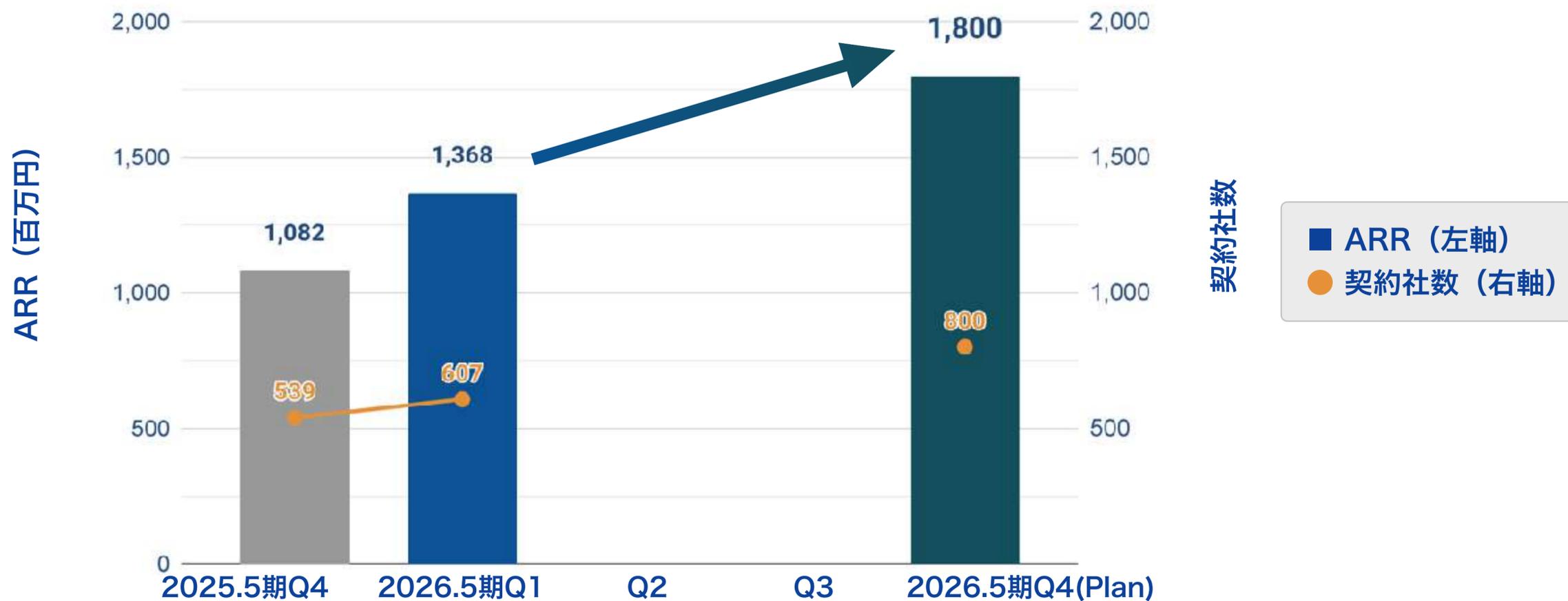


高精細な気象予測を提供し、ドローンショーや空飛ぶクルマなどの運航可否判断を支援

- ◆ ウェザーニュース for businessやWxTech APIの拡販が順調に推移し増収
- ◆ エネルギーや小売をはじめ、建設・物流・工場などの新市場で顧客獲得が進む

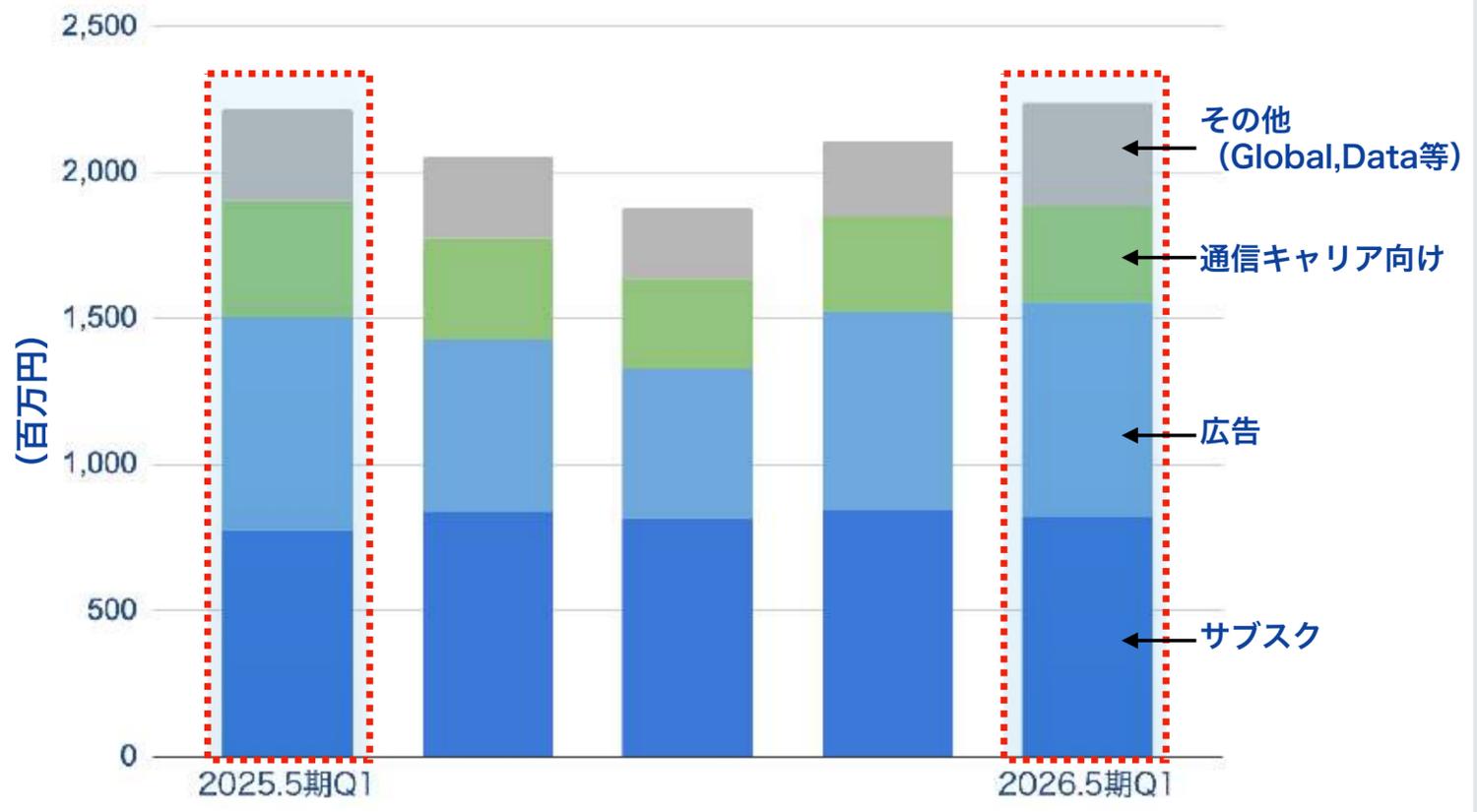
WxTech (ウェザーテック) 主要KPIの四半期推移

※スポット契約を除く
※実績の精査を行い一部数値修正

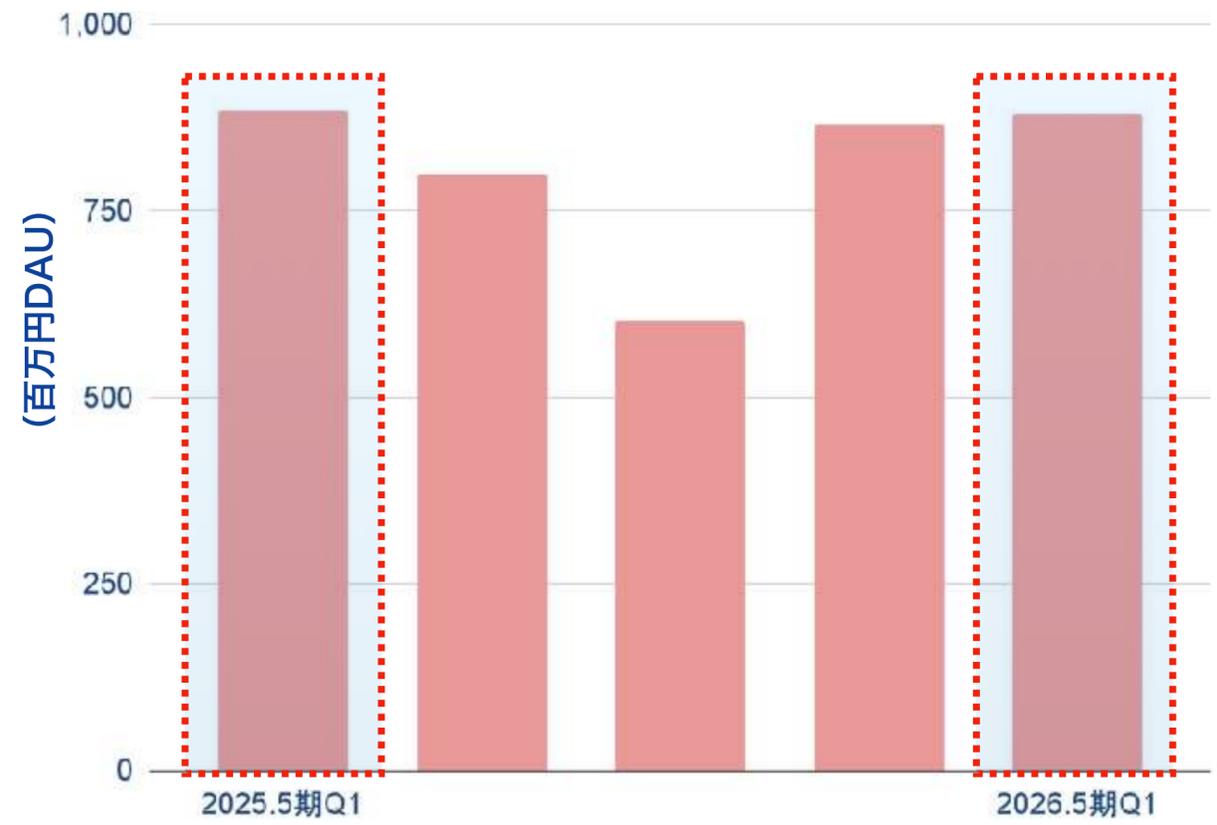


- ◆ 3年連続予報精度No.1 評価や広告投資でアプリのユーザー数が増加し、売上は前期比微増
- ◆ 例年よりも短い梅雨等の影響を受けて、累積DAUは前期並
- ◆ Q1の広告投資額は減少も、Q2以降での投資を計画

売上高 四半期推移



累積DAU 四半期推移



圧倒的な気象メディアのポジション確立へ

- ◆ 2025年9月、日本におけるお天気アプリのMAU（月間利用者数）No.1を獲得
- ◆ AIやウェザーリポートを活用した新コンテンツの充実で利用者数・満足度向上へ



2025年9月に日本のお天気アプリMAU No.1を獲得



ユーザーから寄せられる「ウェザーリポート」をAIが可視化する機能を提供

中期経営計画 Stage1の重点施策

- 1 SaaSモデルによる新たな顧客層の開拓
- 2 データ分析から始まる新たなAI型運営モデルの確立
- 3 個人と法人を繋ぐシナジー効果による価値創造
- 4 将来への継続的成長に向けたGlobal体制の構築
- 5 CO₂削減サービスを通じた地球環境への貢献

2 データ分析から始まる新たなAI型運営モデルの確立

- ➔ 前年度から累計10,000時間/月の業務時間を削減
- ➔ AI活用の推進をグローバルへ



- ◆1Qで新たに3,000時間/月の業務効率化を実現
- ◆航路計画の作成や、気象予測概況の資料作成をAIが自動化



- ◆前期に日本で実施した全社員対象のAI活用ハッカソンをグローバル拠点でも開催
- ◆さらなるAI活用の推進へ

3 個人と法人を繋ぐシナジー効果による価値創造

→企業の広報・マーケティングと
ウェザーニューズコミュニティのシナジー事例



JR東日本様 “避暑旅”

「気温」を旅のきっかけとした季節プロモーションで連携
各駅構内のディスプレイ・ポスター・テレビCMなどに多数展開、特別番組も実施



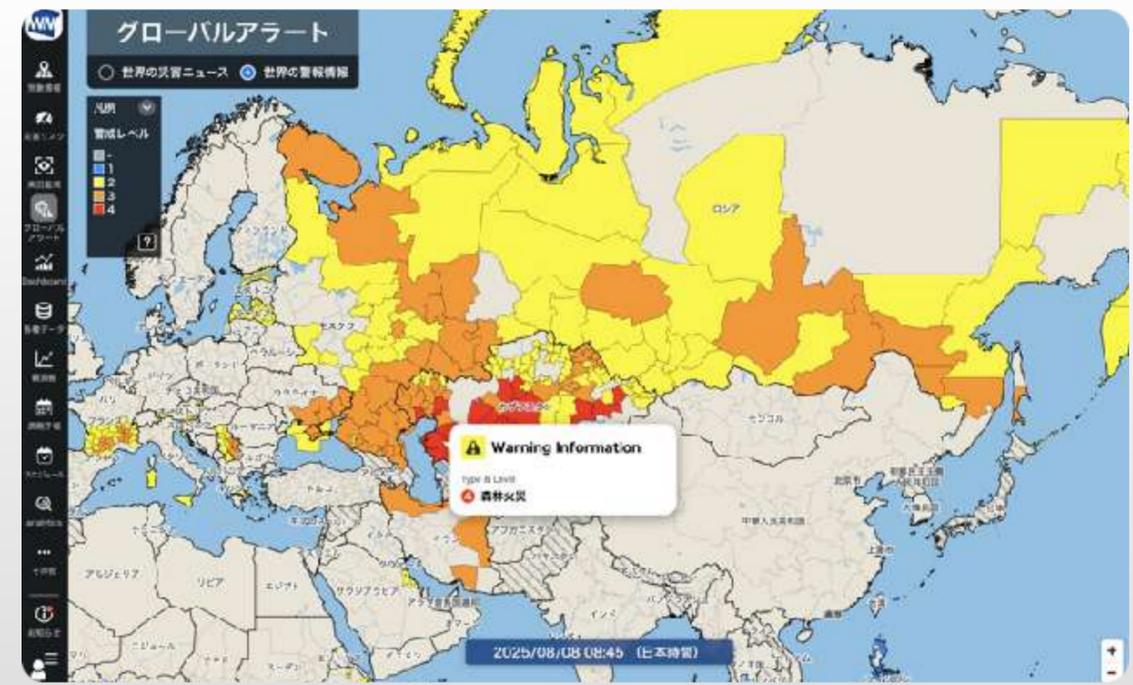
4

将来への継続的成長に向けたGlobal体制の構築

- ➔ 今後のグローバルなサービス展開を見据え、各国との連携の強化を推進
- ➔ 144か国・地域の気象警報及び災害ニュースの配信サービスを開始



ベトナム気象水文局とMOUを締結
AIを用いた台風・大雨予測を提供



世界の警報・災害ニュースをマップ表示
現地の災害リスクを一元把握

1

2

2026年5月期(第40期)

通期業績予想

- ◆ 通期業績予想
- ◆ Domain(事業)別売上
- ◆ 配当方針

期初計画を据え置き

【売上】 25,000百万円（前期比6.4%増）：17期連続の増収を計画
 【営業利益】 5,000百万円（前期比10.7%増）：順調な利益体質化の進捗を背景に、
 営業利益率20%↑（中計最終年度目標）の達成を見込む

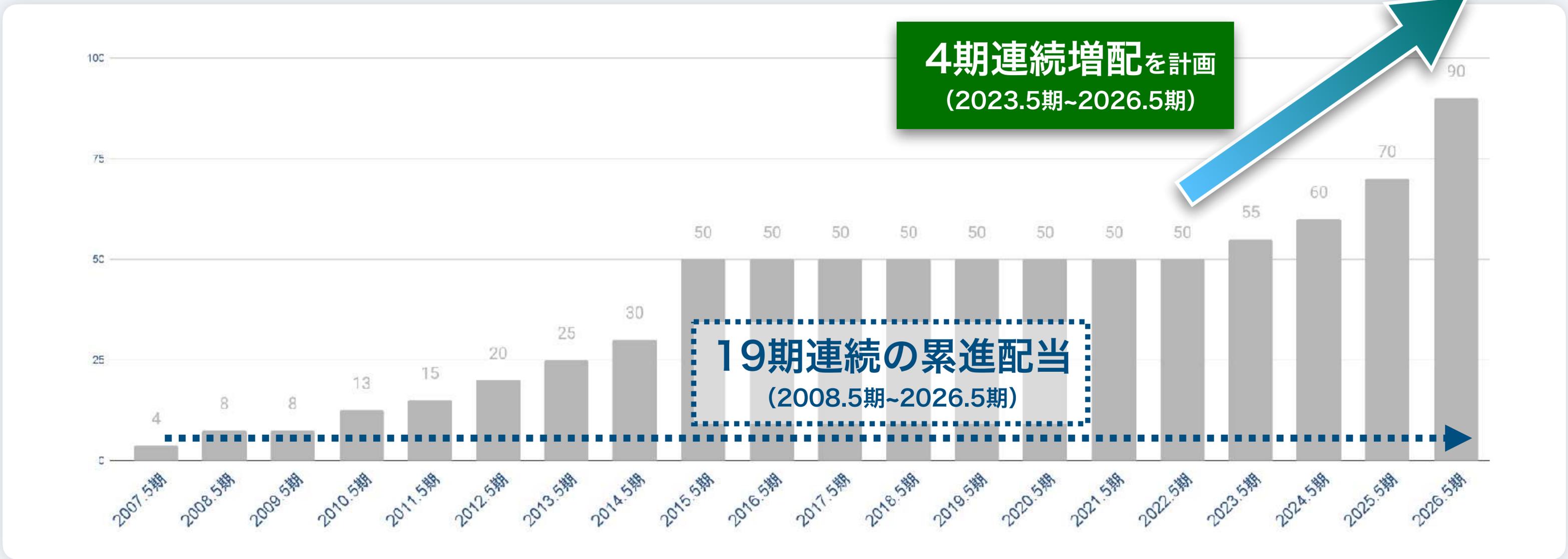
単位：百万円	2025.5期 実績	2026.5期 計画	前期比
売上高	23,505	25,000	+6.4%
営業利益	4,517	5,000	+10.7%
営業利益率 (%)	19.2	20.0	+0.8Pt
経常利益	4,468	5,000	+11.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,115	3,500	+12.4%
EPS (円)	140.77	157.88	+17.11円
ROE (%)	15.1	15.6	+0.5Pt
為替 (USD/JPY) (円)	150.86	150.00	△0.86円

注) EPS：株式分割後の金額を記載しております。（効力発生日：2024年12月1日）

単位：百万円	2025.5期 実績	2026.5期 計画	前期比	成長戦略
Sea Domain	6,139	6,600	+7.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新プロダクトの市場展開と拡販 ・ CS（カスタマーサクセス）体制の推進
Sky Domain	1,319	1,450	+9.9%	アジアのエアライン市場、国内ヘリ市場での拡販
Land Domain	6,749	7,300	+8.2%	CSと営業の強化を通じてWxTechサービスを顧客に拡販
Internet Domain	8,281	8,650	+4.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象メディアとしての圧倒的なポジションの確立 ・ 新コンテンツの充実で、サブスク売上と広告収入を伸長
ストック売上 合計	22,490	24,000	+6.7%	-
フロー売上	1,015	1,000	△1.5%	-
総計	23,505	25,000	+6.4%	-

◆当期(2026.5期)は1株当たりの年間配当を**90円(4年連続増配)**とする予定

◆中長期的な成長に向けた積極投資を第一優先としつつ株主還元にも注力し、**累進配当の維持を基本方針**とする



”ウェザーニュース for business”が
国土交通省 新技術情報システムNETISに登録



144か国・地域の気象警報及び
災害ニュースの提供を開始



全国2,500台のソラカメにAI判定を新規導入
ゲリラ雷雨予測を強化



”au Starlink Direct”に対応
ウェザーニュースアプリを衛星通信で



コーポレートブログ（日/英）の運用開始



CDP最高評価の
“サプライヤーエンゲージメント・リーダー” 選定

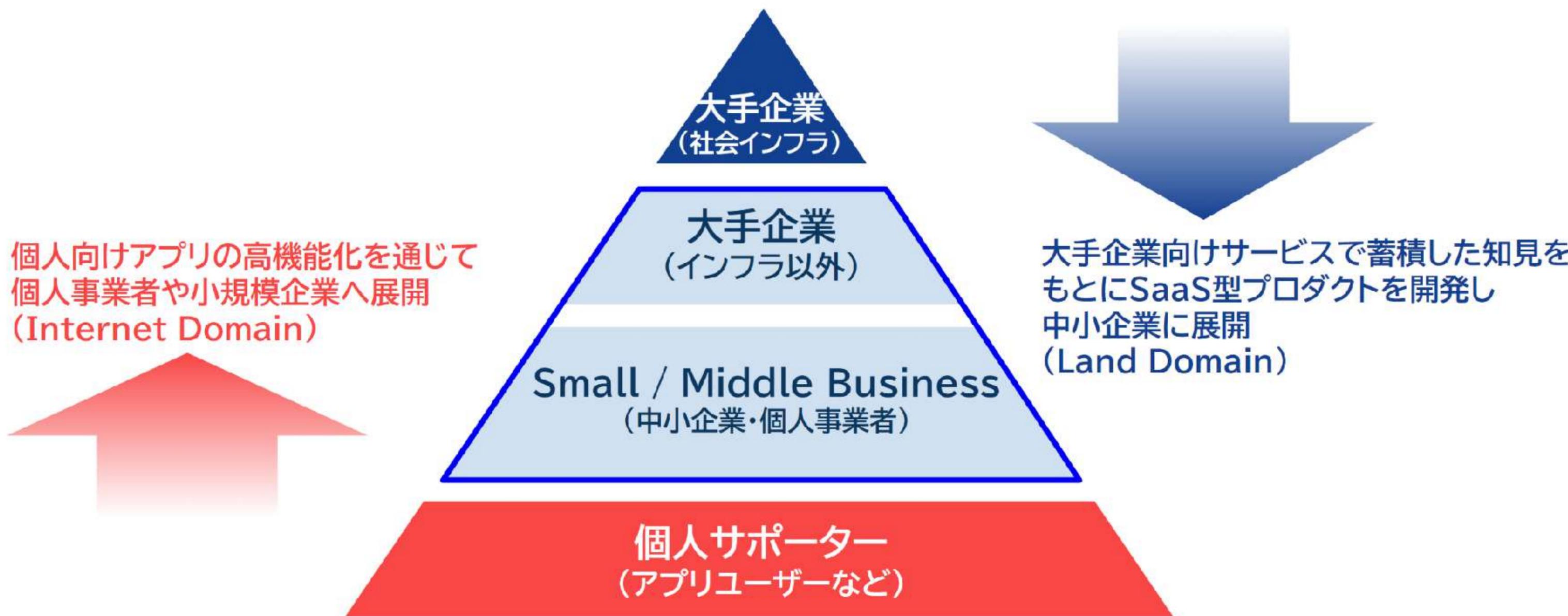




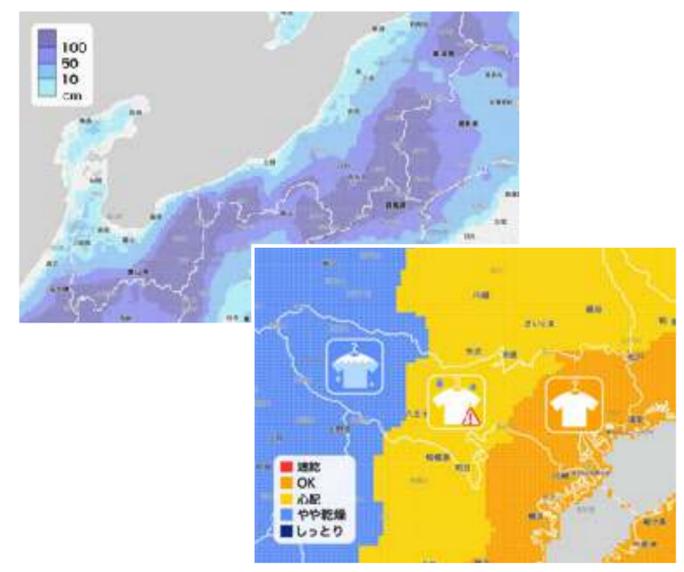
weathernews

Appendix

【現中計期間】 新たなSaaSプロダクトを立ち上げ、新たな顧客層（中小企業）に展開
【中～長期】 既存サービスをSaaS型にシフトし、更なる利益体質化の実現を目指す



WxTech Data



天気予報、過去の天気データはもちろん、地震や津波、火山などの災害リスクを伴ったデータ、また、桜の開花予測や花粉の飛散量、熱中症、紫外線、天気痛など、人の生活や健康に関連するデータなど、自然現象にまつわるあらゆるデータを提供。

(価格：月額30,000円～)

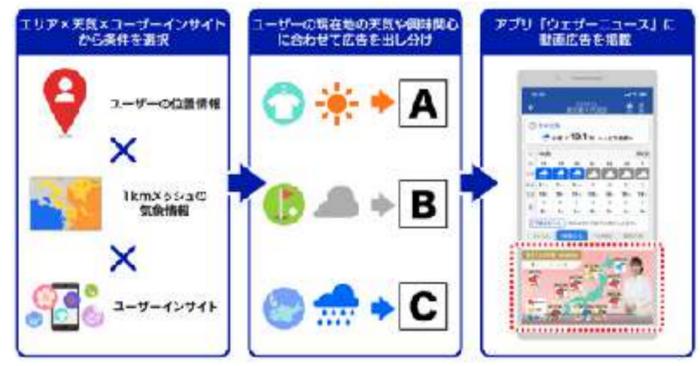
ウェザーニュース for business



アプリ「ウェザーニュース」にお客様のビジネスに必要なお天気ページを追加。
施設や店舗、営業所を地点登録することで、ビジネスの意思決定に関わるプッシュ通知をピンポイントで受け取ることができます。

(価格：月額29,400円～)

WxTech Ads



高解像度気象データとユーザーの現在地情報を掛け合わせ、気象状況に応じた広告をアプリ「ウェザーニュース」内で自動配信。定期的に気象情報を閲覧しにくるユーザーへタイムリーに働きかけ、商品への興味関心や購買意欲の向上を促進。

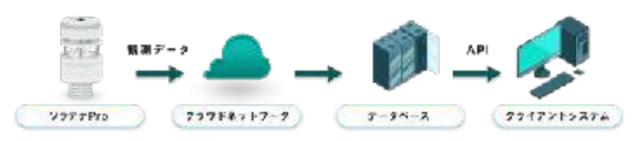
(価格：500,000円～)

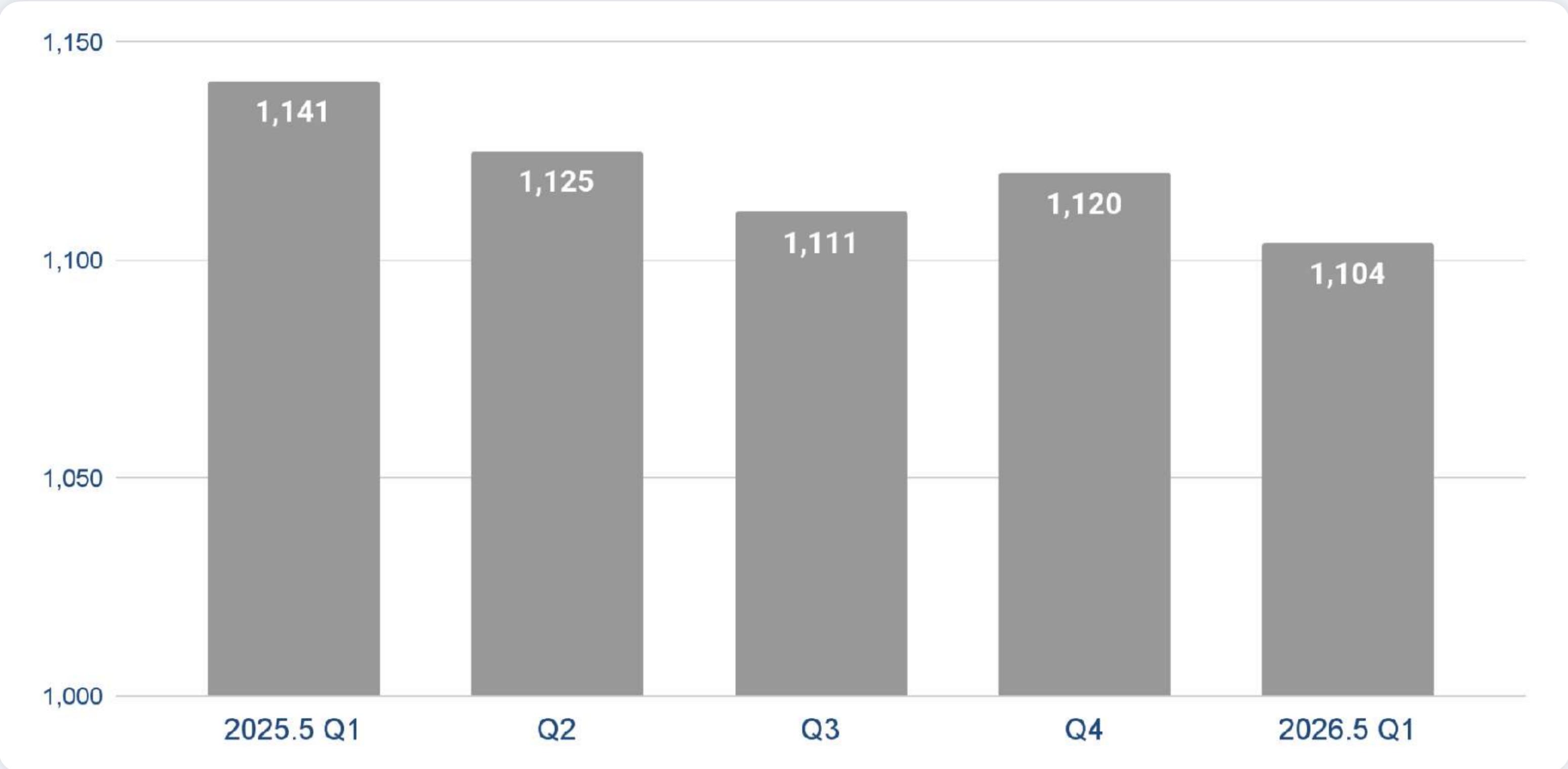
WxTech IoT (ソラテナPro)



小型、軽量、省電力のIoTセンサーで現場の気象を見える化。
企業の安全対策や生産性向上、マーケティング施策や分析を強力にサポートします。

(価格：月額25,000円～)
※レンタルの場合





単位：百万円	2025.5期 Q1 実績	2025.5期 実績	2026.5期 Q1 実績
流動資産	19,432	22,372	21,833
固定資産	3,461	3,385	3,423
資産合計	22,894	25,757	25,257
流動負債	2,862	3,570	3,081
固定負債	549	641	630
負債合計	3,411	4,212	3,711
純資産合計	19,482	21,545	21,545
自己資本比率 (%)	84.7	83.5	85.2
1株あたり純資産 (円)	878.0	970.4	970.6

注) 1株あたり純資産：株式分割後の金額を記載しております。(効力発生日：2024年12月1日)

単位：百万円	2025.5期				2026.5期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	5,843	5,766	5,819	6,077	6,006
営業利益	455	1,221	1,460	1,380	912
営業利益率 (%)	7.8	21.2	25.1	22.7	15.2
経常利益	388	1,234	1,472	1,373	915
親会社株主に帰属する 四半期純利益	279	854	1,021	959	672
EPS (円)	12.65	38.63	46.10	43.31	30.34
ROE (%)	-	-	-	-	-
為替 (USD/JPY) (円)	154.16	149.03	154.09	146.16	146.33

注) EPS：株式分割後の金額を記載しております。(効力発生日：2024年12月1日)

単位：百万円	2025.5期				2026.5期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
Sea Domain	1,550	1,590	1,514	1,483	1,509
Sky Domain	327	326	328	336	360
Land Domain	1,600	1,633	1,771	1,744	1,675
Internet Domain	2,222	2,058	1,882	2,117	2,251
ストック売上 合計	5,701	5,608	5,497	5,682	5,796
フロー売上	141	157	321	395	210
総計	5,843	5,766	5,819	6,077	6,006



注意事項

- ◆当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- ◆また、業績予想など将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる場合があります。